

＜ 京都5区(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡域) ＞

1、衆議院選挙における政策に、歯科医療政策はありますか ①ある() ②ない()

| 予定候補者名(五十音順・敬称略) | | | |
|------------------|--|---|------------|
| 井上 一徳(無所属) | 本田 太郎(自民) | 山内 健(共産) | 山本 和嘉子(立憲) |
| ②ない | ①ある | ②ない | ②ない |
| | 自民党政策パンフに「生涯を通じた歯科健診の充実(国民皆歯科健診)」の記載あり | 2019年参議院選挙時の際に日本共産党として歯科医療にかかわる政策をまとめています。引き続きその立場で取り組んでいきます。今回は、コロナ禍での医療崩壊の教訓から「医療・公衆衛生 再生強化プログラム」を提案しています | |

2、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、経営危機に直面している、すべての歯科医療機関・歯科技工所に対し減収補填を行うことについて ①賛成() ②反対() ③その他()

| 予定候補者名(五十音順・敬称略) | | | |
|------------------|----------------|---|----------------|
| 井上 一徳(無所属) | 本田 太郎(自民) | 山内 健(共産) | 山本 和嘉子(立憲) |
| ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 |
| <意見> (記載なし) | <意見> (記載なし) | <意見> コロナ禍に伴う受診控え・健診控え等で、すべての医療機関同様、歯科医療機関・歯科技工所において経営に困難が生じています。住民が安心して歯科医療を受けることができるよう、減収補填で地域の歯科医療を守ることは不可欠です。 | <意見> (記載なし) |

(2) 感染症予防のためにも口腔ケアが重要であることは、広く認識されています。歯科医療機関に対して感染防護に必要な物資の確保や、歯科医療従事者への新型コロナウイルス検査の実施など、患者が安心して歯科治療を受けられるための方策として、どのような施策が必要と考えますか

| 予定候補者名(五十音順・敬称略) | | | |
|------------------|--------------------------|---|---|
| 井上 一徳(無所属) | 本田 太郎(自民) | 山内 健(共産) | 山本 和嘉子(立憲) |
| 感染防護対策等への国による支援 | 資金面での支援や必要な支援に関する相談体制の整備 | 安心して歯科治療を受けることができ、治療に携わることができるよう、感染防護対策は、ほかの医療機関同様必要です。感染防止に必要な資器材を国が責任を持つこと、定期的、頻回のウイルス検査により、感染者が歯科医療従事者に出た場合にも迅速に対応できる体制をとることが当然必要です。 | 大きいところでは(1)減収補てんにはじまり、また必要な物資の優先的配布、医療サイドへの、いわばエッセンシャルワーカー手当、対策金など。 |

3、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず「保険で良い歯科医療」が受けられるための施策についてお尋ねします。

国立社会保障・人口問題研究所「生活と支え合いに関する調査」(2017年実施)結果によると「お金がなくて歯科医院に行けない」という世帯は、全国で約160万世帯と推計されます。また、高い窓口負担に加え、保険のきかない治療が歯科受診を妨げている要因にもなっています。その改善のために

(1) 患者窓口負担割合を引き下げることについて ①賛成() ②反対() ③その他()

| 予定候補者名(五十音順・敬称略) | | | |
|------------------|--------------------------------------|--|----------------|
| 井上 一徳(無所属) | 本田 太郎(自民) | 山内 健(共産) | 山本 和嘉子(立憲) |
| ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 |
| <意見> (記載なし) | <意見> 治療内容によっては、引き下げは反対だが、原則的には賛成。 | <意見> 窓口負担の高さ、保険のきかない治療が要因で歯科治療を受けられないことが、口腔崩壊にまで進む事態が社会問題になっています。負担軽減により歯科を受診しやすく、将来的には、他の先進国と同様に「窓口負担ゼロ」の医療制度をめざすべきです。 | <意見> (記載なし) |

(2) 歯科治療の保険適用範囲を広げることについて ①賛成() ②反対() ③その他()

| 予定候補者名(五十音順・敬称略) | | | |
|------------------|----------------|--|----------------|
| 井上 一徳(無所属) | 本田 太郎(自民) | 山内 健(共産) | 山本 和嘉子(立憲) |
| ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 | ①賛成 |
| <意見> (記載なし) | <意見> (記載なし) | <意見> 需要の高まりや治療技術の進歩に応じて保険適用範囲を拡大するのは当然です。安全・有効で実績のある治療法は、保険給付の対象とし、保険外負担の軽減を図るべきです。 | <意見> (記載なし) |

